

猶山拾葉 七

冊

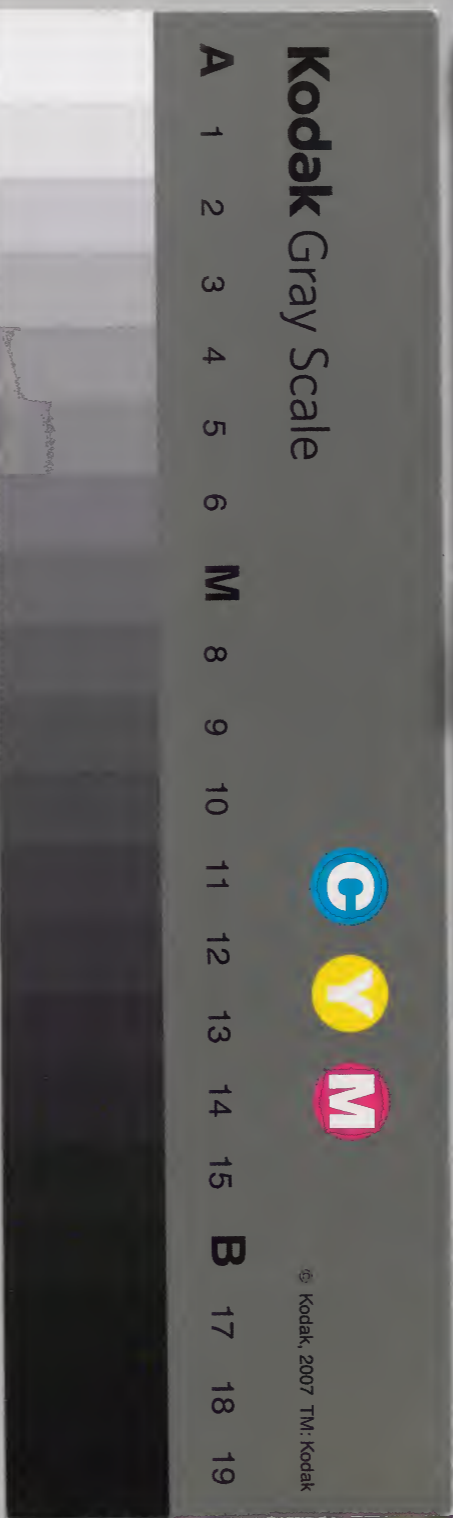
太政官文庫				和書門類
冊	架	函	號	
八	一	六	三	和書門類
				和書門類

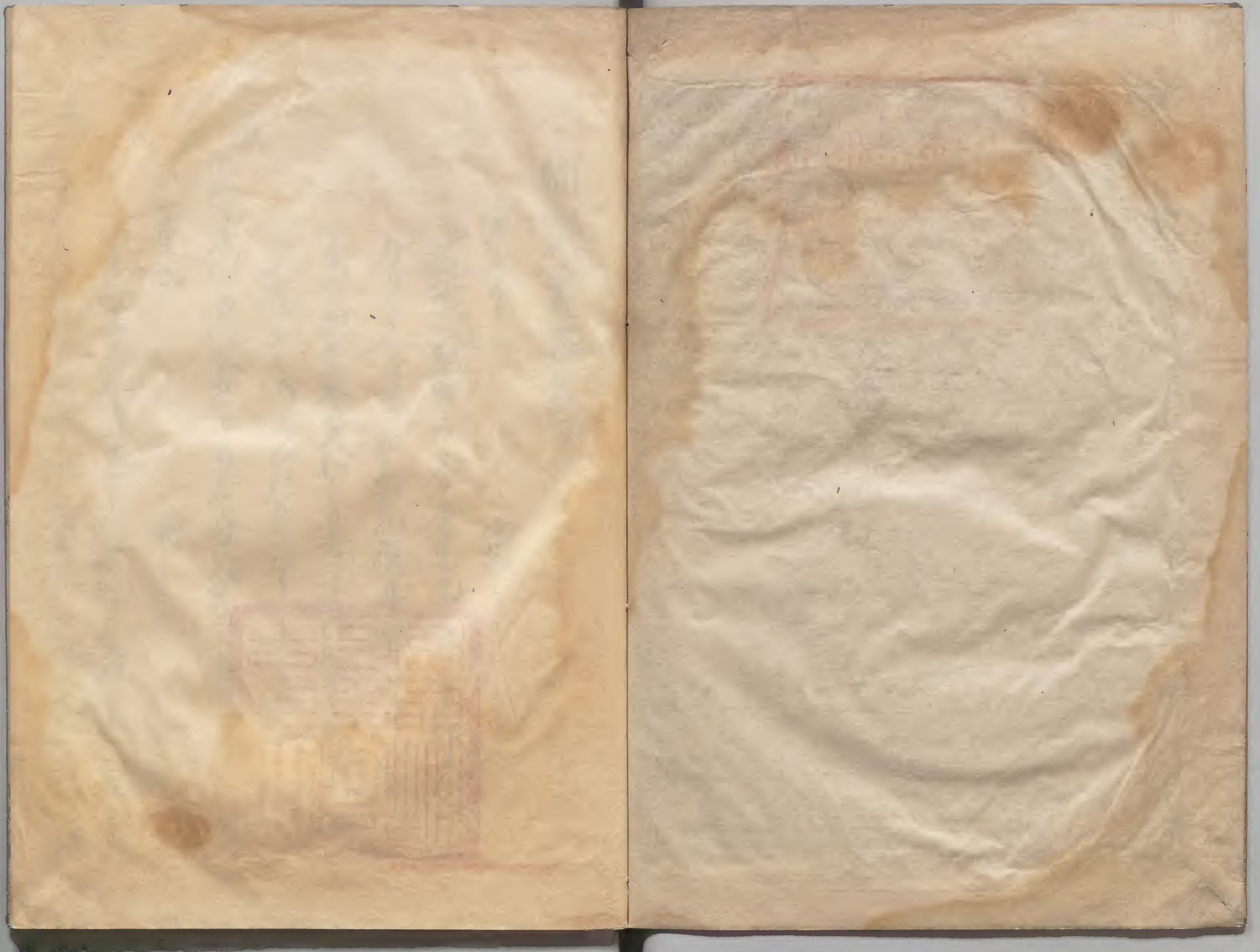
內閣文庫				和書類
冊	架	函	號	
〇	二	〇	〇	和書類
				和書類

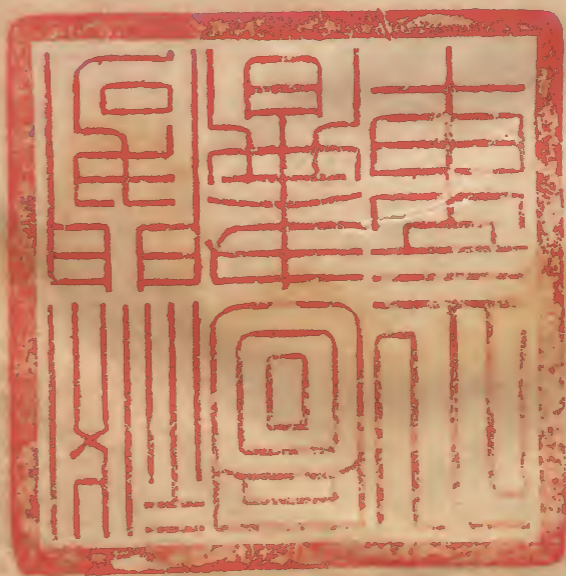
內閣文庫			
番號	和	31873	
冊數	8 (8)		
函號	202	165	

共八

八







楠の於葉巻第七

東市

山城



諸抄當國々々今葉東西之市ノ葉際ハ
ワリト云々ナリ世未勅撰平城の河あり然
東京西市並大和ナリ今ノ市ノ山城ノ訓卷ハ
の京ありと云々ナリ然レハワリト云々

三報
いしりあつた人本此よりよそわりの者人者あつたり
門第

一重山

同

四相岡
いしりあつた人本此よりよそわりの者人者あつたり
高直
何内

五報

引手山 手出

大和

引手山 手出 大和 同 城上郡

七歌

同 高帝部 或高河田

七歌

同 廣瀬河

十歌

七言

同 廣瀬河

日本

同

十三

二歌

同 廣瀬河

一歌

同 廣瀬河

一歌

九歌

同 廣瀬河

十歌

うしろめなむいりきみおはるこりわん 界下

八回

仁作

七巻三命

ふれあひのこころをたふさすよふあはれ魚人

きりぎりすのこころをたふさすよふあはれ魚人

川津

純前

仙覚抄地名所説

七歌

梓弓のこころをたふさすよふあはれ魚人

あはれりのこころを

十春相

あはれりのこころをたふさすよふあはれ魚人

領中 麓嶺

風去純用肥前 被捨字

五歌

あはれりのこころをたふさすよふあはれ魚人

同

あはれりのこころをたふさすよふあはれ魚人

月

あはれりのこころをたふさすよふあはれ魚人

同

あはれりのこころをたふさすよふあはれ魚人

七歌

あはれりのこころをたふさすよふあはれ魚人

あはれりのこころを

廣播

同

十巻五命

あはれりのこころをたふさすよふあはれ魚人

比多 我多 儀

同

十巻五命

あはれりのこころをたふさすよふあはれ魚人

十本末より

女毛豆鴻

相摸

しん海りしんぞめりたかあまらるるしんり

裳羽服津

常陸

りのりしんりあひのりつ津のりしんりあひのり

守心

直名 野内郡

のりあひのりあひのりあひのりあひのり

こめりあひしんり

毛流心

上野

あひのりあひのりあひのりあひのりあひのり

百重心

末勅 或云北名所歟

五龍

あひのりあひのりあひのりあひのりあひのり

ひるあひのりしんり 徳良畧

丹葉心

同 或云北名所歟

あひのりあひのりあひのりあひのりあひのり

あひのりあひのりあひのりあひのりあひのり

石花海

駿河

或本しんりあひのりあひのりあひのり

あひのりあひのりあひのりあひのりあひのり

関心

近江 滋賀郡

あひのりあひのりあひのりあひのりあひのり

中江 尾守

伊能山 日本紀用
元凶字

紀伊 伊都那賀西郡未都之

一歌

いしのやまにまててつらき山ありつらき山あり

河南
宮女

三歌

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

月

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

七歌

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

月

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

月

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

月

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

月

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

月

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

三和図

いしのやまにまててつらき山ありつらき山あり

畧上下見
他伊下

高原里

大和 滝下郡

ナ

いしのやまにまててつらき山ありつらき山あり

高

住吉

攝津 住吉郡

一歌

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

三和図

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

二歌

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

月

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

川登

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

六歌

いづれもをさかす山ありまのせむみけいづれ

美

月 十九 同 月 廿六 月

十初圓

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行取器 男下

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

多治 古

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

男上下見 奈良下

月

十初圓

月

丁春龍

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

行名は候かうてふりて見かたにたてられたる

丁みのえりわらふも昔あはれしついでにわらふては
はあもよふかふとわあはれしついでにわらふて

同

わあはれしついでにわらふてはあもよふかふと

須麻

同

三鷹

丁西のわらふも昔あはれしついでにわらふて

三鷹

鳥飼のわらふも昔あはれしついでにわらふて

十七

丁西のわらふも昔あはれしついでにわらふて

諸沙入

同

土初

わらふてはあもよふかふとわあはれしついでに

十葉

わらふてはあもよふかふとわあはれしついでに

鈴鹿河

伊勢 鈴鹿郡

三和

丁西のわらふも昔あはれしついでにわらふて

角大河原

駿河

八雲御村井野村當國々々原原平勅撰所

村下徳仙覚抄紀行

三和

わらふてはあもよふかふとわあはれしついでに

駿河

同

五葉

丁西のわらふも昔あはれしついでにわらふて

わらふてはあもよふかふとわあはれしついでに

四初回

君之毎かしのすゝめはあちやもいれうもけり余はうすよ
新

未履野

同 或云冬河

二初回

あまきりあのり世にころりきつるはくしむとあふ

